

事務事業名		常任委員会活動支援事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	6 -					担当組織	担当部	議会事務局	担当課	議事課
	政策	1 政策体系外					担当係	議事調査係	担当課長名	高橋幸男	
	施策	1 議会活動支援の充実					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	1 -					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	24	一般	1	1	1	常任委員会活動支援事業					
	事業区分		市単独事業・国県補助事業		市単独事業		任意的事業・義務的事業		任意的事業		
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	H17年度～ 年度		根拠法令 条例等	佐野市議会委員会条例					
	実施方法		直営		事業分類		支援事業				
	リーディングプロジェクト		該当なし		市長マニフェスト		該当なし				

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)		平成27年度実績(平成27年度に行った主な活動内容)					
・4常任委員会(総務、厚生、経済文教、建設)の所管に属する先進地の視察の手配、随行 ・市内現況調査の手配、随行		6月上旬～9月中旬 各常任委員長と打合せ→各委員会ごとに視察事業・視察地等選定、協議 6月下旬～9月上旬 選定先と交渉、日程等調整、視察地決定 8月上旬～10月下旬 各常任委員会視察実施 7/28 厚生常任委員会管内視察(水処理センター、佐野地区衛生施設組合) 9/14 新庁舎建設現場見学会実施、 9/15、2/26 消防本部建設現場見学会実施					
活動指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	29年度(見込)
常任委員会先進地視察随行日数		日	12	12	12	12	12
市内現況調査随行日数		日	3	1	4	1	2

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

議員 常任委員会	対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	29年度(見込)
	議員数	人	26	26	26	26	26
	常任委員会	委員会	4	4	4	4	4

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

目的	4つの常任委員会が所管する事務について、先進地の有効な事務事業や市内の現況を視察し、佐野市にとって有効と考えられる施策等を一般質問や常任委員会で、執行部に提言できるようにする。	成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(目標)	29年度(目標)
		効果的に実施できた視察先	市町村数	8	8	8	8	8
		円滑に運営できている委員会数	委員会	4	4	4	4	4

④ 結果(どのような結果に結びつけますか?)

市民に信頼され、開かれた議会となる。議決機関としての機能が十分に発揮できるようになる。	上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(目標)	29年度(目標)
	議会傍聴者数	人	282	327	483	500	550
	議員提案、及び決議・意見書提出件数	件	6	4	2	4	4

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(目標)	29年度(目標)			
	国庫支出金	千円								
	県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	一般財源	千円	2,339	2,063	2,043	3,362				
	事業費計(A)	千円	2,339	2,063	2,043	3,362	0			
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			費用弁償	2,054	費用弁償	1,811	費用弁償	1,805	費用弁償	2,938
			普通旅費	280	普通旅費	245	普通旅費	238	普通旅費	424
消耗品費			5	消耗品費	5					
使用料				使用料	2					
人件費	人	4	4	4	4	0				
のべ業務時間	時間	416	416	416	416	0				
人件費計(B)	千円	1,619	1,639	1,620	1,620	0				
トータルコスト(A)+(B)	千円	3,958	3,702	3,663	4,982	0				

事務事業名	常任委員会活動支援事業	担当部	議会事務局	担当課	議事課	担当係	議事調査係
-------	-------------	-----	-------	-----	-----	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	平成17年議員活動に伴い開始
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	定数が更に削減され、議員一人一人の役割・使命はさらに重要性を増している。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	各派代表者会議の中で、活発な議会活動ができるよう本来なら拡充すべきであるが、財政状況の厳しい中では、現状の範囲内で行うこともやむを得ないという意見が出た。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	現状維持により対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	
	政策体系外施策	理由・改善案
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	
	市が行わなければならない	理由・改善案
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	
	妥当である	理由・改善案
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	
	成果向上余地がない	理由・改善案
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	
	類似事務事業はない	理由・改善案
	*類似事務事業があれば、名称を記入	
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	
	削減の余地はない	理由・改善案
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	
	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)	
	佐野市議会の解散があれば事業終了となる。	

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
現状維持(従来通り実施)		廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																								
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)																										
		<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持		○	×																						
	低下		×	×																						